



# バイタルデッキR 標準施工要領書

【設定仕様:在来工法A】

デッキ材料：バイタルデッキR 25×145

下地材料：専用バイタル樹脂製根太 40×50  
木製下地(大引・束など)の場合

## 【はじめに】

バイタルデッキRは、十分な強度・耐久性を持った鋼製(亜鉛メッキ鋼板)・アルミ製・木製などの下地に施工してください。本書は、専用のバイタル根太 [WPC製:40×50]木製下地を使用した場合の標準施工要領[在来工法A]です。

その他の下地による施工は、当該下地メーカー資料をご利用いただくか、別途当社営業部までお問い合わせください。

2018年12月

### ■バイタルデッキR 輸入発売元

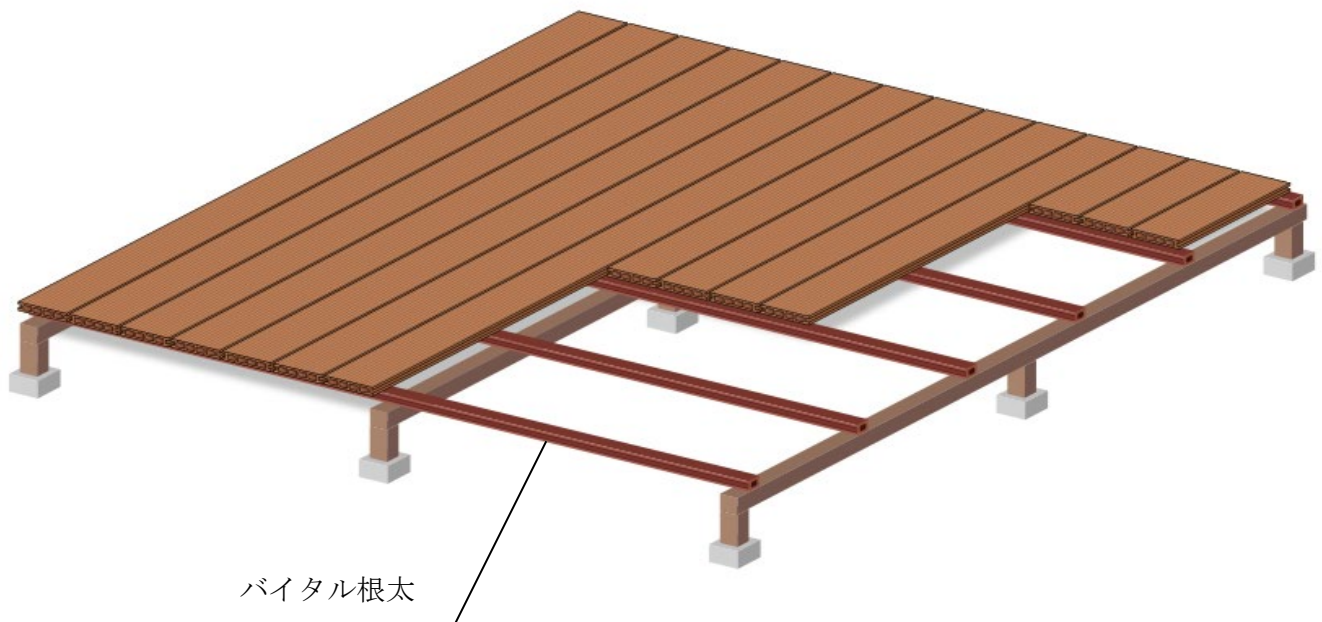
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 6-67 神楽坂 FN ビル 6 階

株式会社東京工営 営業部

TEL:03-5225-4080 FAX:03-5225-4081

<http://www.tokyokoei.com>

[info@tokyokoei.com](mailto:info@tokyokoei.com) (営業部代表)



構成イメージ図

## 【部材リスト】

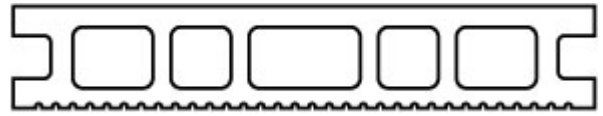
### ■デッキ材料

○バイタルデッキ R25

規格：厚 25×巾 145×長 2000 mm

梱包：3 枚/束(0.870 m<sup>2</sup>入/束)

重量：約 19 kg/m<sup>2</sup>

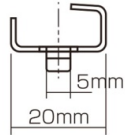
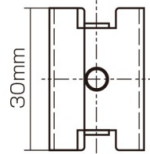


リバーシブル仕様（両面使用可）

○取り付け金物

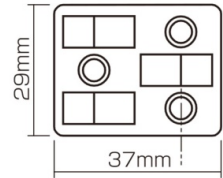
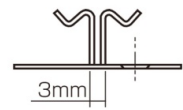
・根太用クリップ 5 mm

注)長手方向のデッキ間を 5 mmで施工します。



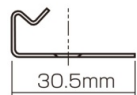
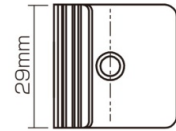
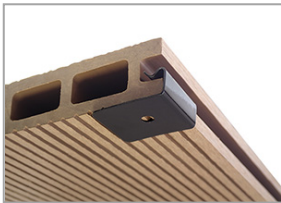
・根太用クリップ 3 mm

注)長手方向のデッキ間を 3 mmで施工します。

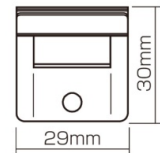


※根太用クリップ(3mm目地)をご使用の場合は、単体のデッキ材の抜き取り交換は出来ません。

・スタート用クリップ

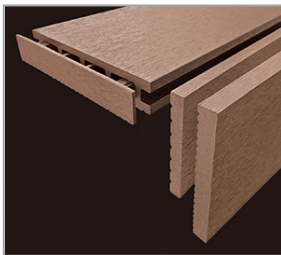


・エンド用クリップ



※すべての金物に下地用ビスがついています。

○バイタルキャップ R (画像：左)、バイタル幕板 (画像：右)



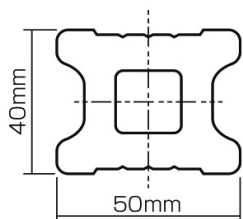
バイタル幕板 規格：

[バイタル幕板 80] 10×80×2050 mm

[バイタル幕板 140] 15×140×2050mm

## ■下地材料

### ○専用根太



#### ・バイタル根太

材質：木材・プラスチック再生複合材

規格：40×50×2400 mm

梱包：4本/束(9.6m/束)

### ○その他の木製下地材料（例）

- ・大引            90×90 mm
- ・束             90×90 mm
- ・根がらみ     20×90 mm
- ・火打           45×90 mm
- ・幕板受け     40×45 mm

下地材料に適した樹種の例：イペ、セラングンバツ など

長期の屋外利用に適した木材を使用します。木材の種類、使用環境などに応じて塗装・防腐・防蟻などの処理を行います。

※上記下地材料は、必要数量を明示の上、弊社宛てに材料注文を頂くか、または現場サイドで材料を手配ください。

※下地を固定する釘、金物などは、現場サイドで材料を手配ください。

## 【施工要領】

### ■施工手順 - ①下地の施工

#### ●基準墨出し

- ・床基盤をよく清掃し、墨出しを行います。
- ・束の間隔は 606 mm以下に設定します。

#### ●束の設置

- ・束を束石に固定します。
- ・束の固定後にレーザー、又は水系を用いて天端のレベルを確認します。
- ・端部の束は大引の端部より 150 mm以内に配置します。

#### ●大引の取付

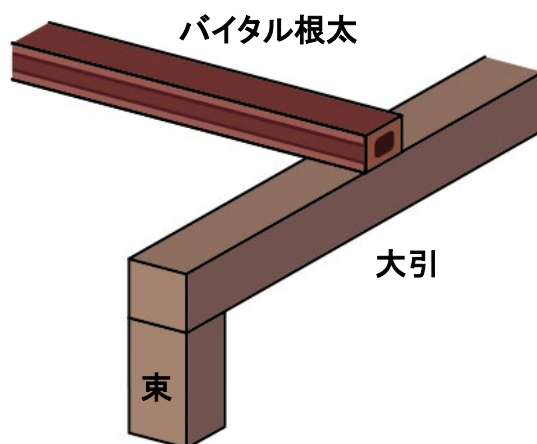
- ・設置した束に大引を固定します。
- ・大引のピッチは 606 mm以下とします。

#### ●根太の取付

- ・根太ピッチは 455 mm以内とします。  
尚、不特定多数の歩行や重量物の設置など負荷の大きい利用が想定される場合は、根太ピッチを 400 mm以下に変更してご使用ください。
- ・木製用ビスを使用し、バイタル根太を大引に固定します。
- ・長手方向のジョイント部は 5 mm程度の目地を取ります。
- ・根太のはね出しは大引の中心から 120 mmとします。
- ・壁側等には 10～30 mmの間隙を設けます。

#### ●幕板受け下地の設置

- ・幕板の使用に応じて 40×45mm 程度の木片を、根太側面 及び 根太木口に固定します。



## 【施工要領】

### ■施工手順 - ②デッキの施工

#### ●デッキ材の保管

- ・デッキ材を保管する際は立てかけずに平置きしてください。
- ・雨や直射日光、暖房器具の近くなどに注意し、高温多湿になる場所は避けて保管してください。

#### ●デッキ材のカット

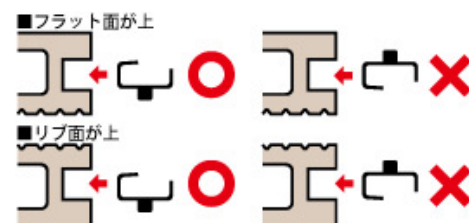
- ・デッキ材は鋸でカットします。Rカットも可能です。
- ・本製品の長さは2000mm(指定特注品を除く)ですが、寸法公差がありますので、根太ピッチに合わせてデッキ材の両端部を直角に端切りします。

#### ●デッキ材の仮並べ

- ・デッキを固定する前に仮並べを行い、色合いのバランスやカットしたデッキ材の長さを確認します。
- ・デッキ材の貼り方は、長手方向1/2ずらし(リャンコ貼り)をお勧めします。

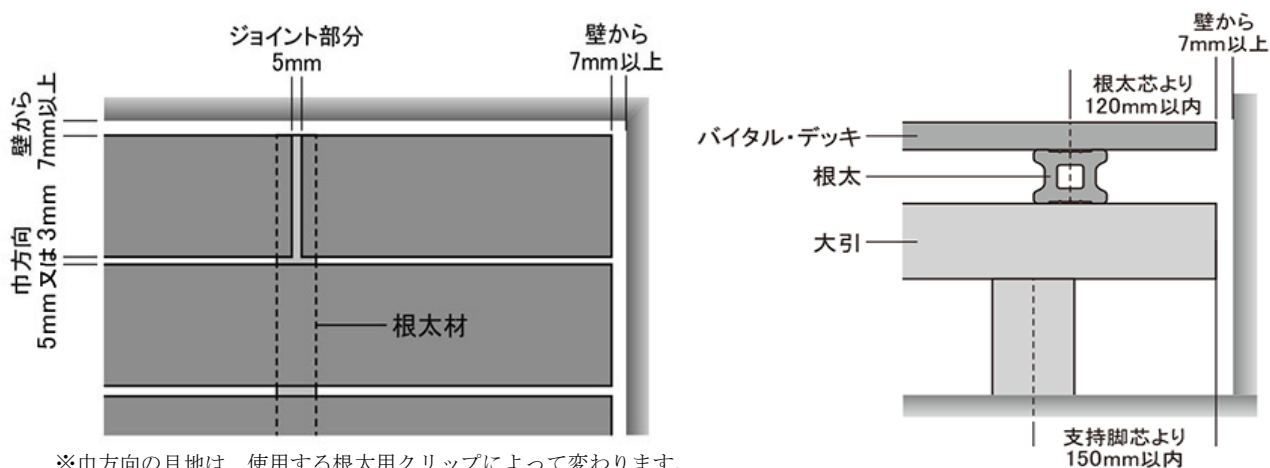
#### ●デッキ材の固定

- ・専用金物を使用し、根太に固定します。
- ・専用金物は右図のように金具の向きに注意してデッキ材のサイドスリットに固定します。
- ・長手ジョイント部には5mmのクリアランスを取ります。
- ・周囲の構造体からデッキ材の端部まで最低7mmのクリアランスを取ります。
- ・デッキ材のはね出し(片持ち)は根太芯から120mm以内とします。



#### ●端部の納まり

- ・幕板はビスなどで下地に固定します。
- ・幕板は緩やかなR面に沿って曲げることが可能ですが、R面に使用する場合は注意して施工してください。
- ・木口の中空部には専用のエンドキャップをご用意しています。



※巾方向の目地は、使用する根太用クリップによって変わります。

## ■施工上の注意点

- 本製品はリサイクル材料から生産されているため、製品によって多少の色のバラ付きが見られることがありますが、品質には問題はありません。
- 根太ピッチは 455 mm以内で施工してください。
- デッキに一定の目地巾を保つため、使用する根太用クリップに応じて、3mm 又は 5mm のあてものをはさみながら施工します。
- デッキの片持ち張り出しは根太芯から 120 mm以内で施工してください。
- 施工後の材料の伸縮に対応するため、長手方向のジョイント部には 5 mmのクリアランスを確保してください。  
又、周囲の構造体からデッキ端部までは、最低 7 mmのクリアランスを確保してください。
- 寸法公差がありますので、本製品の両端部は直角でない場合があります。  
施工時は必ず端切りし、直角を確認してから施工してください。
- 本製品は木工用の通常鋸でもカット可能ですが、カットには超硬チップ付き鋸刃のご利用をお勧めします。
- 本製品への市販塗料による塗装は出来ません。
- 風の影響の大きな場所に施工する場合は飛散防止対策を行ってください。

## 【メンテナンス要領】

### ■日常のお手入れ

- デッキ表面のゴミやホコリは、ほうきなどで掃除してください。
- 汚れは、モップや柔らかいデッキブラシなどを使って水洗いした後、乾拭きしてください。
- 水洗いで取れない汚れは、中性洗剤を使って洗浄し、洗剤がデッキ表面に残らないようによく水で洗い流してから乾拭きしてください。

### ■メンテナンス

- 油汚れ・キズ・タバコの焦げ跡などは、表面を雑巾などで掃除した後、市販のサンドペーパー(#40～60)を長手方向に使用し、削り取って補修してください。
- 頑固なシミや黒ズミは、塩素系漂白剤を使用し取り除いてください。漂白剤を使用する場合は、事前にデッキ表面の汚れ・ゴミ・ホコリを取り除いた後、汚れを落としたい箇所を水で濡らし、漂白剤を使用し5～10分程度放置してください。汚れが落ちたことを確認した後、水を使用し雑巾などで漂白剤が残らないよう十分に洗浄し、最後に乾拭きしてください。

注) サンドペーパーや漂白剤によるメンテナンスは本製品の色合いを損ねる場合がありますので、目立たない部位やカットサンプルを使用して事前にテストしてから漂白洗浄してください。

### ■使用上の注意

- 本製品は可燃性です。デッキの上で火気を使用しないでください。
- 夏場に直射日光が当たるとデッキ表面が高温になる場合がありますのでご注意ください。
- デッキの上に重量物を置く場合は、荷重が分散するように敷板などをご使用ください。最大許容荷重は下地ピッチ等によって異なります。詳細は別途営業担当者までお問い合わせください。
- デッキ表面に強い衝撃を与えると破損・変形する場合がありますのでご注意ください。
- シンナー、ガソリン、有機溶剤などは変形・変色の原因になる場合がありますのでご使用になれません。又、付着した場合はすぐに拭き取るようにしてください。
- デッキブラシを使用する場合は強くこすらないようにしてください。又、金属ブラシなど硬いブラシはご使用になれません。
- 天然木に見られるように、本製品も木粉を使用しているため、雨や紫外線によって色合いが多少変色する場合があります。
- 軒下に設置した場合、雨水で濡れたデッキ表面にシミができる場合があります。性能上は問題ありませんが美観上問題になる場合は、中性洗剤を使用して洗浄してください。

以上